

# 福井みな子 市政報告

5/1より芦屋市議会第21期の任期がスタートし、新たな議会構成が決定。改選後、初めてとなる6月定例会は6/9から6/30の日程で開催され、すべての市長提出議案は可決されました。



## 第一跨線橋(大正15年架橋)の撤去に向けて

～JR西日本との協定書を審査し、附帯決議を付して可決～

この工事はJR西日本の敷地内における極めて特殊な工事につき、JRに依頼することになるため、工事に係る協定書の内容を審査しました。当工事の金額が多額になる理由は、特殊な工事であること、工事の着手にあたり停電が必要となり、停電可能な時間は1週間のうち夜間の約2時間といわれ工期が長くなるためです。

建設公営企業常任委員会では、「積算根拠の詳細が示されていないため、協定金額の妥当性が判断しにくい」ことを指摘し、併せて、夜間の工事につき周辺住民には十分な配慮が必要であることを申し述べました。

なお、本議案は、附帯決議を付し、可決されました。引き続き、撤去工事の施行については注視してまいります。

\*附帯決議：法的な拘束力はないが、議会の意思を表すものとしての効果があるもの。

### <JR西日本との協定>

協定方法： 随意契約

市負担額： 11億9,656万5,000円

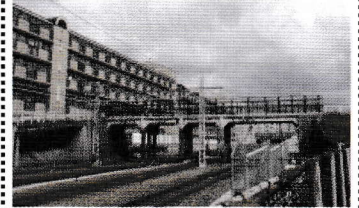
うち55%は国庫補助を予定

工事期間： 令和5年度～令和9年度

### <附帯決議>

- ① 芦屋第一跨線橋撤去工事においては、事業費の根拠となる詳細な積算書等が整い次第、早急に議会に報告すること。
- ② 今後は、事業費の根拠となる詳細な積算書等を、あらかじめ芦屋市に提出されるように西日本旅客鉄道株式会社に要望すること。

### 第一跨線橋とは



JR芦屋駅南口からルナホール(通称)に向かう途中にある、東海道線の線路上にかかる人道橋。大正15年架設から96年が経過し、平成30年度実施の橋梁定期点検では、「早期に措置を講ずべき状態」と診断され、廃止・撤去が決定されています。

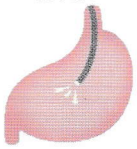
(写真出典：芦屋市HP)

## 胃がん検診に胃カメラを導入

芦屋市での胃がん検診は、従来バリウム使用の胃部エックス線撮影により実施してきましたが、令和5年10月1日から、新たに胃内視鏡検査(胃カメラ)が導入されます。金額は4,300円で、市内の個別医療機関にて実施予定です。

「検査に係る金額が他市に比較して高いのでは？」との指摘に対して、「医療診療報酬点数に基づき積算している」との回答がありました。

検診による早期発見・早期治療が、市民の健康寿命の延伸、また医療費負担の抑制につながることを願います。



## 歯の供養塚



芦屋霊園事務所の北側には、歯の供養塚が設けられており、抜けた歯や役目を終えた入れ歯等が納められています。

「歯牙は本来肉体の一部であり、たとえ抜去された歯牙であっても、粗末に扱うことは許されない」との思いから、昭和28年、芦屋市歯科医師会により設立され、毎年6月には、供養式(要予約)が行われています。



お問合せ：子ども福祉部子ども家庭室子ども家庭・保健センター(健康増進・母子健康担当) ☎0797-31-1586

## 新会派「あしや政風会」を結成しました！



皆さまからのご支援により、無事、4期目の当選を果たすことができました。お支えいただいた皆さまのご期待にお応えできるよう、更なる市民福祉の増進をめざし、力を尽くしてまいります。

このたび、新会派を結成しましたので、ご報告いたします。福井利道議員、川上議員、岩岡議員に無所属新人の原議員が加わり活動します。最大会派となりますが、市議会に新風を吹き込んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。





# 福井みな子の一般質問 (抜粋)

一般質問は、議員が市政運営全般について質問し、答弁を求めるものです。新たな任期がスタートして初めての一般質問では、以下の3項目を取り上げました。

## これからの芦屋市を創る職員の人材育成について

市長の政治理念「芦屋を世界一のまちへ！」の実現に欠かせない「職員の人材育成」について、質問を行いました。



**質問①** 市の職員一人ひとりの能力を最大限に引き出すための環境づくりは、市民生活に直結する。

新しい芦屋市役所づくりに向けた人材育成の重要性と課題を問う。

**市長** 持続可能で効率的な行政運営を行うためには、職員の資質向上はもとより、専門性の高い課題にも対応できる職員の育成が不可欠である。職員とともに新しい施策を実現するにあたり、職員のモチベーションをさらに引き出すことが今後の課題であると考えている。

**質問②** 令和4年度の職員研修をどう評価し、成果として捉えているのかを問う。

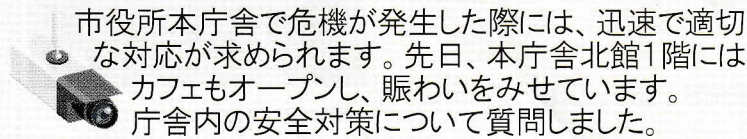
**市長** 令和4年度の職員研修は、職員の法務能力の向上を図るため、重点事項として「法務研修」を体系化し採用1年目から7年目まで切れ目なく実施してきた。DX人材育成のために神戸市へ職員を派遣し、外部での職員研修にも取り組んでいる。

### 私の考え

市民サービスの向上には、人材育成が重要です。人材に投資し、優れた人材が育つ環境、良い組織風土を整えることを望みます。

また、人材育成には、「組織」という視点からだけでなく、「個人」という視点から人間の成長・自己実現等も考慮し、取り組むべきであると考えます。

## 市役所本庁舎における安全対策について



市役所本庁舎で危機が発生した際には、迅速で適切な対応が求められます。先日、本庁舎北館1階にはカフェもオープンし、賑わいをみせています。庁舎内の安全対策について質問しました。

**質問①** 庁舎内において来庁者等による器物破損や、暴力、暴行等想定外の事態が発生した場合の対応策は職員間で共有されているのかを問う。また、想定外の事が発生した場合に備えて、市や警察、消防の組織連携は図られているのかを問う。

**市長** 市役所では「非常通報装置」を窓口職場中心に設置している。これは来庁者等による器物破損や暴力等により、他の来庁者や職員に対し危険が及ぶと判断した場合、警察に通報するためのものであり、定期的な訓練を行っている。その際は、消防と連携し、消火訓練も行っている。

**質問②** 防犯カメラについての有効性と必要性について見解を問う。また増設の予定について問う。

**市長** 防犯カメラは相当数を庁舎内に設置しており、増設の予定はないが、必要に応じて検討する。

### 私の考え

災害または事故から市民を守ることは、市の責務です。想定外の事態の際に迅速な対応をとり、被害を最小限にするために、常に危機意識を持ち、関係機関との連携等万全な体制を整えられるよう、危機対応力の強化に取り組むことが重要です。

## 自転車のヘルメット着用について

改正道路交通法の施行により、今年4月1日から全ての自転車利用者にヘルメットの着用の努力義務が課されたことに関して質問しました。



**質問①** 自転車ヘルメットの着用に関する市民への広報や啓発の取り組みについて問う。

**市長** 市民への広報や啓発は、季節ごとの全国交通安全運動、小学校等での交通安全教室と年1回の市民のための自転車免許教室、交通指導員による街頭啓発、チラシの配布等を実施し、自転車ヘルメットの着用促進に取り組んでいる。

**質問②** 交通安全対策の一環として、ヘルメット購入補助制度の創設についての考えを問う。

**市長** 本市としては、交通安全のためには、ヘルメット購入の補助制度創設よりも、まずは事故予防の観点から交通ルールにおける意識の向上が重要と考えているが、ヘルメット装着に関しても、市民の交通安全意識を高めるために指導、啓発に取り組んでいく。

### 私の考え

全国13の都府県における調査の結果、着用率が最も低いのは兵庫県で、1.9%でした。ヘルメット着用により事故の被害を軽減できることから、姫路市は購入にあたり半額助成を開始します。本市でも子どもと高齢者を対象に、購入補助制度の創設を検討するよう要望しました。

メール [fukui.minako@gmail.com](mailto:fukui.minako@gmail.com) ホームページ <http://www.fukui-minako.com> ブログ <http://www.fukui-minako.com/activityreport/>

<Profile> H23年 芦屋市議会議員初当選 H30年 市議会副議長 R元年 監査委員 R2年 総務常任委員長 R3年 総務常任委員長 R5年 4期目当選



福井みな子

▼人間同士の様に対話ができる、ChatGPTが注目を集めています。AIが暮らしに浸透し当たり前の存在になる日も近いのでしょうか。食わず嫌いから脱却しなければ…。しかし、五感を通して情報は得ることができないのは生身の人間だけ。人材育成について取り上げましたが、道具であるChatGPTを上手く活用し、人間ならではの役割と効率的に組み合わせるスキルが、これからの人材育成にとって大切になることではないでしょうか。

▼いよいよ夏本番。暑さに負けずにお過ごしになられますよう、お祈り申し上げます。

### 編集後記

市政報告Vol.49 R5年7月発行  
 <事務所> 芦屋市打出町1-13  
 (打出商店街南入口角)

阪神電鉄 打出 打出商店街  
 国道43号線 打出

事前にご連絡のうえ、お気軽にお越しください。

TEL & FAX : 34-0240